

啓伸塾便り

きさらぎ
2月(如月)
February

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、冬の新入塾生募集中

中3受験生に送る言葉

ケアレスミス

それ以上に**実力**をつけておけばいい。

ケアレスミスを恐れて気持ちがネガティブになればなるほどケアレスミスは増えます。

それどころか、ケアレスミスに対する恐怖のせいで、本来の実力を発揮できなくなる可能性すらあります。

ケアレスミスは、減らそうと思ってもなかなか減らせるものではありませんし、誰だって一定の割合でします。

その意味では条件はみんな同じですよ。ケアレスミスをしたっていいんです。

もし、ケアレスミスを恐れて萎縮しそうなら、ケアレスミスの分をカバーしてあまりある実力を付けたいと考えると、ケアレスミスは減ります。

ケアレスミスに打ち勝とう！

怖いと思った時に一歩前に出る。

常に自分の限界に挑戦していると、「怖い」と思う瞬間が必ずあります。思った通りの成績がとれないかもしれないことが怖い、努力が報われないことが怖い、自分に負けてしまうかもしれないのが怖い……

そんなときに、「怖いからやめておこう」と一度後退りをしてしまうと、怖いと思うたびに後退りするしかなくなります。

でも一度勇気をふりしぼって前に出ると、見える景色が変わります。それって実は、自分の殻をまた一つ破ったってことなんです。

人として成長するってそういうことなのかもしれません。大人だってみんなそう思い、そのように努力しています。

「怖い」と思うこと自体は悪いことではありません。

その怖いと思う恐怖心に向かって、勇気を振り絞って、一歩踏み出せば、必ず一皮むけた自分になり、また、一歩大きく成長することになります。

受験は、自分を大きく成長させるチャンスです！

今の自分を信じ、今足元にあるやるべきことをひとつずつ、やっつけていこう。そうすれば自分が大きく成長し、受験も成功します。

トップジュニア「1月の勝利」より

中学校でつまづかないために

「プレジデント Family 2020年(冬号)数学が大好きになる魔法のレッスン12」より

中学校の数学で、子どもたちが最初につまづくのは、「文字式」です。式に文字が使われると急に難しく感じて混乱するようです。

例えば、 $5 - (6 + a)$ のような問題が出されると、 $5 - 6 + a$ と間違って計算してしまう子がけっこういます。

文字式の計算は、小学校時代の四則演算の拡張版です。もっと具体的に言えば、小学4年生で習う「計算の順序」 — カッコの中を先に計算する、わり算・かけ算はたし算・引き算より先に計算する — がわかっていれば解けるはずなんです。

例えば、 $12 - (6 + 3)$ という問題なら、() の中から計算するので、 $12 - 9$ になります。

このことから、() を外して考えると、 $12 - 6 - 3$ と計算していることがわかります。これを文字式に置き換えると $a - (b + c)$ は $a - b - c$ となるわけです。それで、前述した式は $5 - 6 - a = -1 - a$ となります。

計算の順序があやふやだと中学以降で当たり前のように使われる文字式で混乱してしまうので、しっかり確認しておきましょう。

この計算の順序がしっかり理解できていれば、次のような一次方程式の問題で
 $3x + 15 = 9$
 $3x = 9 - 15$

と数を「移行」したり、さら $x = -6 \times \frac{1}{3}$ と「逆数をかける」こともスムーズに理解できるようになります。

啓伸塾では、このことを理解して、小4の授業の中で、復習テストとして何回も練習し、小5、小6でも忘れないように繰り返します。

2月の予定

中3入試対策指導 2月5日・12日・19日・26日・(土)
(13時30分~17時)

2月11日(金) 建国記念日・23日(水) 天皇誕生日は、通常通りの授業を行います。
中学1年・2年のみなさんは、2月5・6日(土・日) 学年末テスト対策を行います。また、小学生のみなさんも含め、保護者懇談のご案内と新年度の確認の文書をお渡しします。よろしくお願いたします。